

令和2年度 大阪府立懐風館高等学校学校運営協議会 議事録

協議会の委員

- 大関 雅弘（四天王寺大学教授）
- 高井 基晴（羽曳野市長公室理事）
- 阪本 壮一（阪本織布(株)代表取締役）
- 松村 章生（羽曳野市立誉田中学校長）
- 黒川 達也（羽曳野・懐風館同窓会長）
- 田中 直美（本校PTA会長）

第1回 令和2年11月29日

リモートにて実施、資料は郵送等にて各委員に送付。

メールあるいは電話にて意見を聴取。

令和元年度学校評価、令和2年度学校経営計画等について意見聴取

主な意見

- ・基礎学力とともに、知徳体の調和のとれた人間であることは非常に重要であり、それらを目指することは適切である。
- ・新型コロナの影響で授業形態等の変化もあったが、悪い点だけではなく、今後の参考になるような点なども検討して欲しい。
- ・時間を守ることは将来社会に出ても重要である。遅刻総数が増えているのが気になる。さらに時間を守る意識と態度を身につけさせるよう指導してほしい。

第2回 令和3年1月15日

リモートにて実施、資料は郵送等にて各委員に送付。

メールあるいは電話にて意見を聴取。

学校経営計画の進捗状況について意見聴取

主な意見

- ・学力保障とともにコロナの影響による家庭事情などの問題についても今後もできる範囲で丁寧な対応してください。生徒に寄り添う必要が増えています。
- ・長期休業の短縮や土曜日の授業実施などで授業日数を確保していることは適切である。毎朝の健康チェックや消毒用アルコールの設置などコロナ対策もおこなっている。今後も生徒が安心して生活できる環境を維持するよう努めてください。

第3回 令和3年3月3日

リモートにて実施、資料は郵送等にて各委員に送付。

メールあるいは電話にて意見を聴取。

令和2年度学校評価、令和3年度学校経営計画等について意見を聴取

主な意見

- ・学校教育自己診断での、学校に対する生徒の肯定的評価が高まっている要因について、さらに分析して、今後の学校経営に生かしてほしい。
- ・コロナ禍で地域連携等も十分にできなかったが、生徒の多様な学びを保障するため、学習指導の工夫をしてほしい。
- ・令和3年度学校経営計画について承認。